



日付	2019/03/20 [火]	天気	晴れ
現地時間		日本時間	PM10:00
本日の活動	2019.3.19 ~ 20 日本に帰国	Report No.	12

Events & Photos

「30期海外修学旅行」も終わりの時を迎えました。ポストンでの5日間に渡るプログラムと、ニューヨークでの3日間のプログラムを通し、日本では得られなかった多くの経験と様々な思いを得ることのできた素晴らしい研修だったと思います。

本日は朝から帰国に向けて移動を開始しました。朝の会では、修学旅行実行委員の1組の田中翔太くんより、「これからが旅行の最大の山場なので、気を引き締めて全員が無事に帰れるようにしましょう。先生や添乗員の方々、そして親に感謝の気持ちを忘れずに帰りましょう。」との言葉がありました。アメリカに到着したときと同じJFK国際空港から、日本に向けて12:05の飛行機で飛び立ちました。生徒たちはアメリカに名残惜しさを感じながらも、今回の研修について互いに語りつつ、充実した表情を浮かべていました。

成田空港で離団する生徒もいることから、成田到着後に30期修学旅行の解団式を行いました。生徒代表の2組山崎君からは、「様々な経験が出来た修学旅行でした。このような修学旅行ができたのは、先生や添乗員の方々のおかげです。」との言葉があり、生徒一同から添乗員の方々にお礼のプレゼントを渡しました。団長の岡本先生からは、「生徒全員の協力のおかげで、成功した修学旅行となりました。」とねぎらいの言葉がありました。

解団式後には成田空港にて離団する生徒としばしの別れを惜しみつつ、成田空港から羽田空港までバスで移動をしました。羽田空港にて離団する生徒とは、ここで新学期までの別れの言葉を交わしました。

新千歳空港に到着したのは21時過ぎでしたが、多くの保護者の方や先生方が出迎えに来てくださいました。同じ場所を出発した11日前より一回りたくましく成長した表情を見せることができたのではないかと思います。新千歳空港で行われた解団式では、出迎えに来てくださった谷地田校長先生よりは「12日間の感動と、修学旅行に行かせてくれた両親への感謝の気持ちを忘れずにいてください。」との言葉をいただきました。また、教頭先生より出迎えに来てくださった保護者の皆様に、「濃密な12日間を過ごして来た生徒の土産話を聞いてあげてください。」との言葉がありました。最後に、生徒代表の2組の鈴木俊太郎君より「両親への感謝を忘れず、修学旅行の経験を明日から始まる春休みからも生かしていこう。」という挨拶がありました。

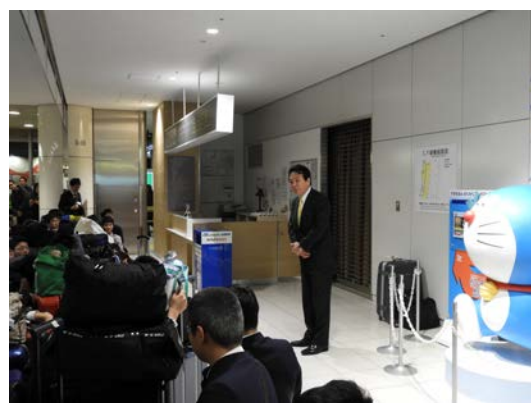
12日間の旅は、生徒達にとって、見知らぬ世界に触れ、様々な人と出会い、日本社会とアメリカ社会を比べ、そして世界の歴史と未来について考える素晴らしい経験の詰まった日々であったに違いありません。また、互いのことを



▲朝の会にて田中くんから挨拶がありました



▲ 解団式（成田空港）での山崎君からの挨拶

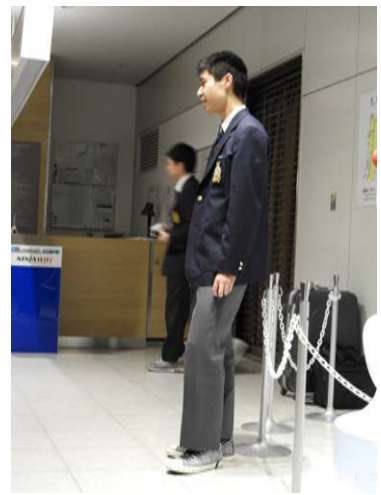


▲ 解団式（新千歳空港）にて校長先生から出迎えの挨拶をいただきました

気遣いながら、長い日程を乗り切っていた姿も印象的でした。私たち引率団も、彼らの日々の確かな成長を見つめながら、30期の生徒達の大きい可能性を感じることもできた12日間でした。明日からは春休みを迎えます。長旅の疲れを癒し、今回の経験から得たものを、自分の糧としていて欲しいと思います。

最後になりますが、この30期修学旅行をご支援くださり、見守ってくださった皆様、本当にありがとうございました。旅行記はこれをもって終了とさせていただきます。

(文責 30期生学年団)



▲ 解団式（新千歳空港）にて鈴木君から挨拶がありました。

移動中～解団式の様子



30th Hokurei School Trip in the U.S.A. [Boston / New York] 2019